

京都大学経済研究所シンポジウムシリーズⅡ：豊かさを育むエビデンスベース社会の実現に向けて
第4回 エビデンスベース社会の確立：文理融合と科学技術コミュニケーションの実現に向けて

日時：2017年4月25日（火）10時30分～12時30分

会場：京都大学東京オフィス大会議室（新丸の内ビルディング10階）

開催趣旨：

エビデンスベース社会の確立に向けて、文理融合と科学技術コミュニケーションの役割を最新の経済学研究を交えて議論する。

主催：京都大学経済研究所

（先端政策分析研究センター（CAPS）／エビデンスベース社会構築事業／先端経済理論の国際的共同研究拠点）

共催：京都大学社会科学統合研究教育ユニット／公益財団法人 KIER 経済研究財団／独立行政法人経済産業研究所（RIETI）

プログラム：

開会挨拶

10:30～10:40 矢野 誠 CAPS センター長・教授，RIETI 所長

CAPS 教員による研究報告

10:40～10:50 報告1 広田 茂 CAPS 准教授

「健康・医療データと社会経済行動データの統合分析の試み」

10:50～11:00 報告2 要藤正任 CAPS 准教授

「ソーシャル・キャピタルと世代間のつながり」

11:00～11:10 報告3 伊藤公二 CAPS 准教授

「企業と労働者をデータでつなぐ：Matched employer employee data を利用した分析」

11:10～11:30 ディスカッション

パネル・ディスカッション：

モデレーター：小嶋 大造 CAPS 准教授

パネリスト：大島 まり 東京大学大学院情報学環/生産技術研究所教授

横山 広美 東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授

赤池 伸一 文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術予測センター長

矢野 誠 CAPS センター長・教授，RIETI 所長

11:30～11:45 話題提供 1 : 大島まり 教授「研究成果の社会実装に向けた

科学技術コミュニケーションの役割」

11:45～12:00 話題提供 2 : 横山広美 教授「学術の大型プロジェクトの現在」

12:00～12:30 ディスカッション